

老朽化した東海第二原発の運転期間延長させないことを国に求める請願

老朽化した東海第二原発の運転期間延長を行わないように関係機関に働きかけることを要請します。

東海第二原発は、2011年の東日本大震災時の地震・津波で冷却機能の一部を失い一時危機的な状態となりました。その東海第二原発は今年で運転開始から40年を迎えています。ところが昨年11月に日本原子力発電は、運転期間の20年延長を原子力規制委員会に申請しました。東海第二原発の圧力機器は40年使用を前提に作られており、延長されれば60年という長期にわたるものになり想定していない問題が生じる可能性があります。

それに7年間も止めていた原発を再稼働させることは機器にどのように不具合が生じるか予想もつきません。例えば7年間止まつていて再稼働した玄海原発3号機の蒸気漏れ事故時、瓜生九電社長は「6~7年止めているので何があるかわからない」と本音を述べています。それを裏付けるかのように原子力規制委員会は5月23日、東海第二原発を含む7原発12基で腐食や穴が見つかったと公表しています。

加えて、福島第一原発事故以降住民の避難計画が30キロ圏に拡大されました。東海第二原発の場合、30キロ圏内に約100万人が住んでおり実際に避難計画が策定できるか困難を極めています。また、事故が起きれば首都圏に住む3000万人にも被害が及ぶことは必至です。3000万人の避難計画を策定することも必要になります。埼玉県が存在にも関わる重大な問題です。

私たち「さよなら原発東松山の会」では脱原発を訴えて、平成24年8月から2ヶ月に一度パレードを続けてきました。上記のような状況を踏まえて、問題の多い東海第二原発の運転延長を行わないように関係機関に働きかけることを強く要請します。

上記のとおり請願いたします。

平成30年8月27日

東松山市議会議員 岡村行雄 殿

【請願者】

名 前	住 所

請願団体：さよなら原発東松山の会 〒355-0156 埼玉県比企郡吉見町長谷1504-250
問合せ先：電話 070-6985-1073 E-mail<runner@jca.apc.org> (担当：仁井谷)